



教材教具説明シート

| | | | |
|----------------|--|-----------|---|
| 名称 | 学習用自動券売機 | | |
| 関係する教科等 | 生活単元学習 (社会・数学) | 区分・ 項目 | / |
| 使用対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習など、公共交通機関(電車)を利用する事前学習で使用する。 ・お金の学習(500円以下)を対象とする児童生徒の学習に用いる。 | | |
| 使用目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習に向けて、電車に乗ることへの見通しをもつことができる。 ・自動券売機の操作方法を覚えて、電車の切符を買うことができる。 ・自動券売機の疑似体験を通して、運賃に見合った硬貨の支払いやおつりの計算などの理解を深める。 | | |
| 活動時の様子 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | | |
| 効果・改善点等 | <ul style="list-style-type: none"> ・本物と似た具体物を利用することで、興味・関心を高め意欲的に学習に取り組める児童生徒が多かった。 ・自動券売機の画面はタブレット端末を使用し、タッチパネルにすることでより実践的な体験ができた。 ・疑似体験を通して、見通しをもつことができ、校外学習時は比較的落ち着いて切符を買うことができた。 ・回を重ねるごとに、自動券売機の操作方法を覚えて一人で切符を買える児童生徒が増えていった。 ・疑似体験から児童生徒がどのような反応を示すかを見てとれるため、大きな混乱を防ぐことができた。 ・お金の学習をする際は、硬貨の種別や位分けができるように補助教材も合わせて使う必要がある。 | | |